

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

心腎連関における臨床的意義とその原因検索の実態調査

2. 研究の対象患者

旭中央病院予防医学研究センターを受診した者および当院受診者で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない者。なお臨床データを収集不可の対象は除外する。

- ・ 選択基準
 - 1) 旭中央病院予防医学研究センターおよび当院を受診した者
 - 2) 性別不問
 - 3) 年齢不問
- ・ 除外基準
 - 1) その他、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した者

3. 研究の対象期間

2004年1月1日～2024年12月31日

4. 研究の概要

臓器連関として互いに影響しあう臓器としては、主なものは腎臓、心臓、肝臓、脳、肺、内臓脂肪を含めた大腸小腸やその中の腸内細菌などがあり代表として特に心腎連関は有名である。その現象としての相関や機序については言われているが、その実態は明らかではない。また近年診断、治療法の進歩により心腎連関の情報が、診断とともに直接治療法に結びつくことの可能性が高まってきた。

アミロイドーシスやファブリ病などがよい例であり、臨床上心腎連関を考える上で重要な疾患といえる。今回この心腎連関に関して当予防医学研究センター受診者を中心にまた当院内科受診者も含め、まず横断的に実態を把握し、またさかのぼってその病勢の進行をレトロスペクティブに検討し、今後の診断や加療につなげていく臨床研究を計画した。また近年SGLT2阻害薬は、心不全やCKDに適応が広がった。心腎連関の観点からこの薬剤による効果を検証する。

5. 研究実施予定期間

2024年5月22日～2026年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕： 生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、飲酒歴、喫煙歴、診断名

〔血液学的検査〕： RBC、Hb、WBC、Neu(%)、Lym(%)

〔血液生化学的検査〕： 血糖値、HbA1c、LDL-C、HDL-C、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca、シスタチンC、P、FIB-4Index、BNP、eGFR

〔尿検査〕 尿定性検査(尿蛋白、尿糖)、尿沈渣、尿蛋白定量

〔心臓超音波検査〕 EF、E/e'

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 予防医学研究センター 橋本尚武

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)